

有者及び新感染症に罹患していると疑われる者

- ② 四類感染症のうち、後天性免疫不全症候群、梅毒、マラリア、その他、厚生省令で定めるものの患者（無症状病原体保有者を含む）

2、 以下に掲げる感染症または保菌者が発生した場合は、施設内での感染を防御するために感染症管理部に届ける。

- ①結核菌の排菌者
- ②EKC 発症者
- ③感染性胃腸炎（ノロウイルス、O-157 等）の保菌者
- ④疥癬
- ⑤インフルエンザ
- ⑥薬剤耐性菌保菌者（ MRSA、MDRP、VRE、その他 ）
- ⑦その他重要と思われる感染症

V 病院感染発生時の対応

病院感染が疑われる場合や、重大な感染症で嚴重な感染対策が必要な場合は、以下の3つのレベルで対応する

レベル1・・・通常の感染対策で対応できる場合は、マニュアルに従って口頭で具体的対策を指示する。

レベル2・・・委員会での決定が必要で、緊急を要しない場合は、定期の感染対策委員会で審議し、方針を決定する。

レベル3・・・重大な感染症で早急な対応が必要な場合は、臨時の感染対策委員会を開催する。緊急の場合は感染症管理部長の権限で開催し、病院長、感染管理部長、同副部長、感染対策専任者の出席で議決可能とする。
また当該診療科、病棟の責任者も会に召集できる。

VI 職員研修の基本方針

枚方病院における感染対策の基本的な考えや具体策の周知徹底、さらには感染症に関わる最新の知識の習得のために、全職員を対象にした研修会を開く。

- ① 新入職の医師・看護師を対象としたオリエンテーションを入職にあわせて行う。看護助手、清掃業者、調理員などにも必要時に感染予防に関する研修を行う。
- ② その時々の特ピックスや院内で発生した感染症に関係した講演会を、有識者を招き年2回以上開催する。
- ③ 研修会や講演会に参加できなかった職員のために、資料やDVDを保存し、より多くの職員が最新の知見が得られるような環境を整える。

VII 患者への指針の公開

枚方病院での病院感染対策指針はホームページに掲載し、誰でも閲覧できるものとする。

附則

この指針は、平成 19 年 9 月 10 日から施行する。

附則

この指針は、平成 21 年 7 月 16 日から施行する。

院内感染防止対策 研修実施状況

院内感染防止対策研修実施状況（平成20年度実績）

開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
4月1～2日	感染オリエンテーション	51	
4月4日	感染オリエンテーション	116	
6月6日	針刺し事故対策	151	
7月9日	衛生管理の基本事項	58	
11月4日	感染管理の基本	29	
11月5日	感染管理の基本	36	
11月10日	感染管理の基本	31	
11月11日	感染管理の基本	39	
12月1日	細菌検査と感染対策	88	
12月2日	細菌検査と感染対策	79	
12月5日	細菌検査と感染対策	142	
12月8日	細菌検査と感染対策	144	
12月末	DVD医局講演、各医局から希望のあったテーマ	157	
12月19日	新型インフルエンザ	248	
12月25日	新型インフルエンザDVD	112	
12月26日	新型インフルエンザDVD	79	
1月6日	新型インフルエンザDVD	109	
1月9日	新型インフルエンザDVD	104	
1月23日	新型フルーと行政の対応	149	
3月末	DVD医局講演、各医局から希望のあったテーマ	82	
2月3日	感染オリエンテーション	1	
2月16日	SPと新型インフル	55	
2月末	新型インフルエンザDVD	16	
3月2日	標準予防策	27	
3月4日	標準予防策	27	
3月6日	標準予防策	18	
計		2,148	

院内感染防止対策研修実施状況（平成21年度実績・予定）

	開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
実 績	4月1～3日	SP、誤刺対策、ごみ分別	28	
	4月3日	手洗い、膀胱留置カテーテル、	28	
	4月1～3日	グラム染色	28	
	4月4日	SPと手洗い	128	
	4月4日	廃棄物処理	128	
	4月4日	消毒と滅菌	128	
	5月13日	新型インフルエンザの基礎知識とその対応	315	
	5月28日	抗菌薬の基礎知識	94	
	5月29日	抗菌薬の基礎知識	80	
	6月1日	抗菌薬の基礎知識	84	
	6月2日	抗菌薬の基礎知識	88	
	6月24日	渡航感染症	84	
	7月3日	感染オリエンテーション	1	
	7月7日	VAPの現状と展望	289	
	8月3日	VAPの現状と展望	74	
	8月4日	VAPの現状と展望	64	
予 定		外部講師による講演会		
		診療科別DVD講演会		
		職種別研修会		
		滝井病院からの沿革放映		

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年7回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>【前年度実績】 別紙①</p> <p>【今年度実績及び計画】 別紙②</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有・無)</p> <p>「医薬品の安全使用のための業務手順書」遵守に関する記録(別紙③)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の提供 外来患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用 医薬品情報の収集・管理・提供</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内オールユーザー宛Eメールを配信。(別紙④)</p>	

別紙①

薬剤部研修会記録

日時 2008年9月25日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	澤谷佳美	高木雅代	喜多春菜	中野有美	廣田育彦
木崎秀和	川瀬泰裕	本田信次	渡邊響子	藤本佳那子	久原優子
西尾千恵	畠山京子	足立裕子	西山徳人	柳 康晴	田中久子
宇井昌史	舟見奈奈	中島 愛	宇都宮敦子	大植謙一	
山崎裕美	中山大輔	濱田陽子	田中雅幸	乾有紀子	
岡田美由紀	木元幸希	藤井良平	中野 綾	鶴見由美子	

I 薬剤部研究発表

- ①「ベンゾジアゼピン系薬剤服用により肝性脳症の発現が疑われた症例」
発表者：中島 愛 (9階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『ヒュミラ皮下注40mgシリンジ0.8mL』，『スーテントカプセル12.5mg』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『アドエア100ディスカス』，『アドエア250ディスカス』，『アドエア500ディスカス』
『グレースビット錠50mg』 『ディビゲル1mg』

③連絡事項

市販直後調査対象医薬品一覧，販売中止品目，販売元変更品目，社名変更製薬企業
長期投与制限解除品目，ワイス製品の供給状況について，
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.248,249) (別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2008年10月23日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	打谷和記	寺澤美智代	高木雅代	久原優子	古長育美
齋藤佳代	池嶋孝広	川瀬泰裕	本田信次	渡邊響子	田中久子
本西 哲	東村 舞	畠山京子	今井 玲	足立裕子	西山徳人
長瀧真実	松井沙織	中島 愛	井上真由美	宇都宮敦子	廣田育彦
山崎裕美	中山大輔	濱田陽子	角井寿代	田中雅幸	大植謙一
岡田美由紀	木元幸希	藤井良平	中野 綾	鶴見由美子	

I 薬剤部研究発表

- ① 「WarfarinとPaclitaxel併用時のPT-INRに及ぼす影響の検討」
発表者：角井寿代 (6階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『デュロテップMTパッチ2.1mg』，『デュロテップMTパッチ4.2mg』，
『デュロテップMTパッチ8.4mg』，『ゾシン静注用4.5g』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『ガスターD錠10mg』，『コンサータ錠18mg』，『コンサータ錠27mg』
『エストラーナテープ0.72mg』

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品一覧、剤形変更品目(錠剤サイズの変更)、
錠剤の識別コード変更品目、貯法および包装変更品目、
医薬品・医療機器等安全性情報(No.250)(別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2008年11月27日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	打谷和記	澤谷佳美	中野有美	千野和則	鶴見由美子
齋藤佳代	池嶋孝広	本田信次	渡邊響子	藤本佳那子	田中久子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	畠山京子	宇都宮敦子	古長育美
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	中島 愛	井上真由美	廣田育彦
山寄裕美	中山大輔	濱田陽子	角井寿代	田中雅幸	大植謙一
岡田美由紀	山元悠有希	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾

I 薬剤部研究発表

- ①「ソラフェニブ使用患者の症例を経験して」
発表者：本間信次 (12階担当者)
- ②「臨床上問題となる相互作用について考える」Part 1
1年生 (入職1年目)

II 2008年OHP新入局薬剤師研修会報告

- ①市立池田病院
- ②北野病院
- ③大阪市立総合医療センター病院
- ④大阪大学医学部附属病院
- ⑤市立堺病院

III 保険薬事委員会報告

- ①新規採用医薬品
『アービタックス注射液100mg』，『マクジエン硝子体内注射用キット0.3mg』
- ②新規採用決定院外処方箋専用医薬品
『イリボー錠5 μ g』，『トピナ錠50mg』，『フェルナビオンテープ35』
『ディフェリンゲル0.1%』，『イソバイド<1包30mL分包品>』
『スカイロン点鼻液50 μ g56噴霧用』，『ナゾネックス点鼻液50 μ g 56噴霧用』
『フォリスチム注300IUカートリッジ』，『フォリスチム注600IUカートリッジ』
- ③連絡事項
切替採用品目、市販直後調査対象医薬品一覧、販売中止に伴う在庫抹消品目
錠剤・カプセル剤の識別コード変更品目、販売元変更品目
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.251) (別紙参照)
- ④その他

薬剤部研修会記録

日時 2008年12月25日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	高木雅代	喜多春菜	中野有美
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	川瀬泰裕	本田信次	渡邊響子	藤本佳那子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	今井 玲	足立裕子	西山徳人	廣田育彦
宇井昌史	松井沙織	中島 愛	井上真由美	宇都宮敦子	千野和則	
山寄裕美	濱田陽子	角井寿代	田中雅幸	古長育美	乾有紀子	
岡田美由紀	山元悠有希	近藤弘美	藤井良平	鶴見由美子	田中久子	

I 薬剤部研究発表

- ①「カペシタビンによるワルファリン作用増強を認めた一例」
発表者：松井沙織
- ②「ワルファリンとロルノキシカムとの併用により抗凝固作用の著明な増強を認めた一例」
発表者：喜多春菜
- ③「ミグリトールによって肝障害と高カリウム血症を発現した一症例」
発表者：中野有美

II その他連絡事項

薬剤部研修会記録

日時 2009年1月29日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	寺澤美智代	高木雅代
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	中野有美	藤本佳那子	久原優子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	畠山京子	喜多春菜	千野和則
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	井上真由美	宇都宮敦子	鶴見由美子
中山大輔	古長育美	乾有紀子	榎 康晴	田中久子	廣田育彦
岡田美由紀	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾	

I 薬剤部研究発表

- ①「抗生物質含有骨セメントビーズ留置後に著しい好酸球数上昇と腎機能低下を呈した一症例」

発表者：井上真由美 (6階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『イトリゾール注1% [200mg]』，『アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『ピレスパ錠200mg』，『ラミクタール錠25mg』，『ラミクタール錠100mg』
『トレドミン錠50mg』，『フリバスOD錠25mg』，『フリバスOD錠50mg』
『タプロス点眼液0.0015%』

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品、後発医薬品追加導入品、
貯法変更品目、販売元変更品目、長期投与制限解除品目
医療事故防止目的での製品名変更品目
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.252,3) (別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2009年2月26日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	寺澤美智代	廣田育彦
齋藤佳代	中野有美	藤本佳那子	久原優子	角井寿代	千野和則
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	島山京子	喜多春菜	
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	宇都宮敦子	鶴見由美子	
中山大輔	古長育美	柳 康晴	田中久子	山元悠有希	
近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾	高木雅代	
宇都宮敦子	今井 玲	西山徳人	足立裕子	本間信次	

I 薬剤部研究発表

「腎機能低下患者におけるブホルミンからメトホルミンへの切り替えに関する考察」

発表者：東村 舞 本西 哲 (12階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『アクテムラ点滴静注用80 mg』, 『クレストール錠5mg』 『リレンザ』
『ボルヒール(5mL) 献血』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『ユリーフ錠4mg』

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品、献血由来製剤への切替品目、経過措置期間終了にともなうマスタ登録抹消品、販売元変更品目、「ケナコルトA注」の全ロット製品回収について、自己注射用インスリン製剤等の製品名変更、医薬品・医療機器等安全性情報 (No.254) (別紙参照)

薬剤部研修会記録

日時 2009年3月26日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	寺澤美智代	高木雅代
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	中野有美	藤本佳那子	久原優子
本西 哲	東村 舞	西尾千恵	畠山京子	喜多春菜	千野和則
宇井昌史	長瀧真実	松井沙織	井上真由美	宇都宮敦子	鶴見由美子
中山大輔	古長育美	乾有紀子	柳 康晴	田中久子	廣田育彦
岡田美由紀	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	中野 綾	

I 薬剤部研究発表

「臨床上問題となる相互作用について考える」 part2

岡田美由紀, 山元悠有希, 近藤弘美
木元幸希, 藤井良平

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『ゼチーア錠10mg』, 『ソナゾイド注射用16 μ L』
『ルセンチス硝子体内注射液2.3mg/0.23mL』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『タシグナカプセル200mg』他(別紙参照)

③連絡事項

切替採用品目、市販直後調査対象医薬品、
注射用メソトレキセート5mgの在庫消尽について
遺伝子組換え人血清アルブミン製剤「メドウェイ注5%」の製造販売承認取下げについて
医薬品・医療機器等安全性情報(No.255)(別紙参照)

④その他

別紙②

薬剤部研修会記録

日時 2009年4月23日

場所 薬剤部

参加者氏名

大植謙一	村中達也	打谷和記	澤谷佳美	山本真悠子	町谷友紀奈
池嶋孝広	久原優子	角井寿代	本間信次	谷口昌美	古川智美
本西 哲	西尾千恵	畠山京子	喜多春菜	千野和則	秋月未希
長瀧 真実	松井沙織	井上真由美	鶴見由美子	三浦麻実	内海裕美
中山大輔	古長育美	田中久子	廣田育彦	中野綾	山元悠有希
岡田美由紀	近藤弘美	木元幸希	藤井良平	川瀬泰裕	
田中雅幸	渡邊響子	濱田陽子	今井 玲	西山徳人	足立裕子

I 薬剤部研究発表

「」

発表者：今井 玲 (9階担当者)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g』, 『ホスレノールチュアブル錠250mg』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『スプリセル錠20mg』 『スプリセル錠50mg』 『ニューロタン錠100mg』
『アドエア50エア-120吸入用』 『アマージ錠2.5mg』

③連絡事項

市販直後調査対象医薬品、長期投与制限解除品目、
医療事故防止目的での製品名変更品目 (平成21年3月24日付官報告示分等)
後発医薬品導入に伴う先発医薬品の抹消について
医薬品・医療機器等安全性情報 (No.256) (別紙参照)

④その他